

【機械・一般事業】地域の中堅・中小企業振興

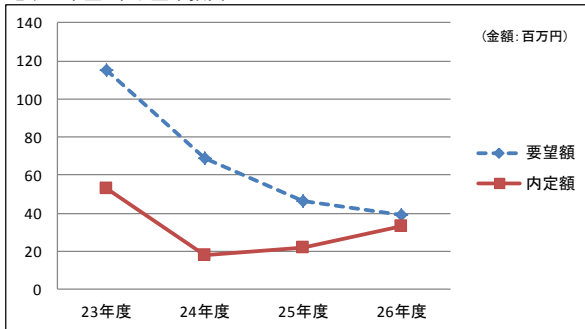
1. 補助の目的・概要

地域における中堅・中小機械工業の振興は、日本の機械工業の基盤となるものであるとともに、地域活性化の観点からも支援が求められる分野である。

平成 24 年度の機械工業振興補助においては、中堅・中小企業の経営基盤の強化、新規事業展開の切り口から、機械工業における中堅・中小機械工業の振興に資する事業を一般事業として支援した。

2. 補助実績（内定件数・金額）

地域の中堅・中小企業振興



| 年度 | 要望数 (件) | 要望額 (百万円) | 内定数* (件) | 内定額* (百万円) |
|------|------------|--------------|-------------|---------------|
| 23年度 | 10 | 115 | 6 | 53 |
| 24年度 | 10 | 69 | 4 | 18 |
| 25年度 | 9 | 46 | 7 | 22 |
| 26年度 | 9 | 39 | 9 | 33 |

※辞退となった事業を除く

平成 24 年度においては、10 件 6,857 万円の補助要望があり、そのうち 4 件 1,752 万円の支援を行った。

3. 補助事業の事例

(財)九州産業技術センター

九州域内の中堅・中小企業の新事業創出、高付加価値化、国際競争力の強化を目的とした事業化の見込みが高い戦略分野と企業候補の選定、コーディネータ・事業プロデューサーの採用を支援した。技術開発支援のための技術シーズ・ニーズのコーディネータ活動及び事業化のためのプロデューサー活動に対しても支援を行った。



「低コスト化合物半導体太陽電池のための高品質バルク結晶の作成技術の開発」
第 1 回研究会の様子

4. 補助事業の成果等

(公財) 全国中小企業取引振興協会の行う、中小企業 IT 経営革新講演会について支援を行った。中小企業振興機関・中小企業支援機関等が参加し、中小企業経営の IT 化に関する実践的な講演、中小企業経営者による IT 化先進事例発表を学んだ。実際に上手く IT を活用している企業の経営者からの事例発表と支援担当者からの支援内容の報告が内容の中心としたこともあり、講演会は 96%の参加者が満足しており、91%の参加者が「今後役に立つ」と実感している。IT 関連の情報・技術の理解、実務的な能力の習得を図り、中小企業の IT 経営の利活用の一助となった。

その他、(一財) ニューメディア開発協会、(財) 九州産業技術センターの行う事業に補助を行い、中堅・中小企業の基盤強化や新産業の推進を図った。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 6 件 (1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため、前段『2. 補助実績』の件数とは異なる) のうち、5 段階評価で、評価 5 [極めて高い] が 2 件、評価 4 [比較的高い] 3 件、評価 3 [ほぼ問題ない] が 1 件であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A+[比較的高い] 4 件、A [概ね十分] が 2 件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価される A 以上の評価となった。

なお、補助事業者から報告された「事業の成果を十分に発揮できなかった阻害要因」としては、単年度事業であるため長期的な視点にたった企業支援体制が取りにくいこと、事業の告知が遅れ参加者が定員を満たさなかったことなどが挙げられている。事前の告知を広範に行い、参加者数を増やす努力をすることなどが望まれる。